

令和2年度ジャパンリンクセンター運営計画

令和2年4月15日
ジャパンリンクセンター運営委員会

1. 委員会、分科会、メンバーミーティングの主宰、招集、事務

(1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を4回開催し、JaLCの運営方針を議論する。

(2) メンバーミーティング

メンバーミーティングを開催する。令和2年度は、会員からのニーズの把握をできる機会を引き続き設けることとする。

2. サービスの開発、運用および管理

(1) サービスの開発

令和2年度は、令和元年度に開発を行った以下機能についてリリースする。

- ・ OAI-PMH 情報提供機能の拡充
- ・ ORCID 業績登録支援機能の追加

また、次の開発を行う。

- ・ 外部提供機能の拡張

令和元年度に着手した抄録ライセンスフラグの追加開発を受け、令和2年度は抄録ライセンスフラグに基づく抄録の外部提供を含む外部提供機能の拡張を行う。

(2) 運用

システム運用、サービス運用業務は、過年度に引き続き外部に委託して実施する。

3. DOI登録機関業務

(1) 正会員

過年度に引き続き、正会員の入会対応を行う。具体的には、入会手続き説明、入会審査事務、DOI prefix の払い出し、システムの初期設定、データ初期登録方法の指導などである。

(2) 準会員

正会員を通じて、準会員に対する DOI prefix の払い出しに係る事務を行う。また、準会員

を持つ正会員と協働して、準会員の増加も図る。

(3) 入会説明会の開催

これまで入会説明会を年に一度定期開催してきたが、別途、入会の問い合わせの都度説明会を開催していることから、今後定期開催は廃止し、問い合わせ対応時のみとする。

4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務

(1) 「研究データ利活用協議会」

「研究データ利活用協議会」の活動は5年目となる。今年度も過年度に引き続きイベント開催などによるコミュニティ醸成を図る。また、小委員会活動の支援を継続する。

さらにオープンサイエンス関係のイベントである「ジャパンオープンサイエンスサミット (JOSS)」の運営にも引き続き参加する。

(2) JaLC イベント

利用者目線のサービス提供による DOI の普及、およびコミュニティの醸成を目的として、「対話・共創の場」を開催してきたが、DOI の普及、コミュニティの醸成が進んでいることから、今後の開催イベントの目的・開催方法について新たに検討する。

(3) 「ストラテジーの実現に向けて」

ストラテジーの実現に向けて、必要な予算の獲得に努めると共に、DOI 登録対象コンテンツの拡大やメタデータ連携の促進、他の識別子との連携に向けた調査等を行う。

(4) 国際機関との関わり

DOI 登録機関として DOI 財団の活動に関わる。また、Crossref、DataCite、ORCID などとの連携強化を図る。また、得られた情報等については会員向けにメルマガ等を通じて積極的に発信していく。アジアの DOI 登録機関 (RA) との連携施策も模索する。

— 以 上 —